

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

○儲かる果樹農業の確立

【取組】

果樹農業の担い手のモデルとなる「未来型果樹園」を核とした、産地の強化を目的として、

- ① 西日本豪雨災害からの復旧・復興の支援
- ② 未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための施設等の整備
- ③ 紅プリンセス等県オリジナル品種の生産支援

【成果】

- ① 復旧園地における早期成園化のための土づくりと防風・防鳥ネットの整備：1地区
- ② 高品質・高収量生産に必要なハウス、果樹棚、防風・防鳥ネット、かん水施設等の整備や、省力・低コスト化のための電動鋏、モノレール等の整備：10地区（松山市、八幡浜市など）
- ③ 県オリジナル品種に係る高品質・高収量のためのハウス、防風・防鳥ネット、かん水施設の整備：4地区

【関係事業】

- ・未来型果樹産地強化支援事業費：66,129千円
- ・紅プリンセス生産支援事業費：21,827千円



防風・防鳥ネットの整備



かん水施設の整備

○儲かる中晩柑の生産拡大や高品質化等による収益性向上

【取組】

- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国事業）を活用して、収益性の高い施設中晩柑産地拡大のための施設整備を支援

【成果】

- ・中晩柑ハウスの資材導入：2産地、7件（松山市、今治市）
- ・中晩柑ハウスの施工支援：1産地、3件（松山市）

【関係事業】

- ・かんきつ園地施設化支援事業費：28,109千円
- ・果樹産地整備事業費：12,020千円



モノレールの整備

○中古資材の利活用による施設整備のコスト低減化

【取組】

- ・コストを抑制しながら高品質な果樹の安定生産に取り組むため、中古ハウスの解体、移設、再建、補強等の経費の一部を補助

【成果】

- ・中古資材を活用した中晩柑ハウスの整備：2産地、5件（松山市、今治市）

【関係事業】

- ・園芸用中古ハウス等リノベーション対策支援事業費：11,766千円



中古資材を活用したハウスの整備

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

○樹園地再編による次世代かんきつ園整備と中晩柑類の産地振興

【取組】

- ① 緑肥作物を用いた草生栽培の実証
- ② 気象モニタリングシステムの現地導入
- ③ ドローンによる緑肥作物「ヘアリーベッチ」の播種を実演

【成果】

- ① 春播きは4地区11戸(325a)、秋播きは5地区13戸(365a)で7種類の草種を用いた草生栽培を実証し、草種毎の生育差や土壌流亡の防止効果、適切な播種方法等を検討
- ② 現地の気温や湿度、風速、降水量などの7項目のデータを5分毎に収集・蓄積し、病害防除に活用
- ③ 手播きに比べ、作業時間が約1/25に削減

【関係事業】

- ・次世代かんきつ整備園強化事業費(中予): 1,641千円



「テフグラス」草生栽培園

○南予の特産果樹産地づくりの推進

【取組】

- ① 「南予の媛小春」魅力アップ協議会員等を対象に現地研修会を開催
- ② 地域の新たな特産品(びわ、かき、もも)の生産拡大を推進
- ③ 媛小春の加工品開発に向けた協議及び販促イベントの開催

【成果】

- ① 春季及び秋季現地講習会(のべ70人)を開催、実証結果等報告と併せ、先進農家栽培技術、情報共有を実施
- ② 生産者の掘り起こしと新規栽培者等への技術指導を実施
 - ・びわ生産量: 2.8t
〔R6: 2.1t, R5: 2.6t, R4: 2.8t〕
 - ・かき生産量: 10.7t
〔R6: 4.2t, R5: 10.3t, R4: 8.3t〕
 - ・もも生産量: 15.4t
〔R6: 8.8t, R5: 12.6t, R4: 11.8t〕
- ③ 愛媛・南予の媛小春かんきつフェア(東京都)等で試食販売実施、「媛小春ゼリー」の商品化及び販売を開始

【関係事業】

- ・「南予の特産果樹」魅力アップ事業費(南予): 1,270千円



春季現地講習会



伊達柿

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 2 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します

○県オリジナル品種「ひめの凜」の導入推進

【取組】

- ・県産米全体の競争力の底上げ、農家所得向上と本県水田農業の振興を図るため、ひめの凜の生産振興や、良食味米生産体制の構築、ブランディングを一体的に実施

【成果】

- ・令和7年度認定栽培者：1,488名（1,320ha）
- ・種子センター、育苗施設、農業機械の整備
- ・新たな栽培管理システムの導入
- ・首都圏のお米マイスターと連携したフェアや首都圏の飲食店を対象としたキャンペーン等を実施

【関係事業】

- ・ひめの凜産地強化支援事業費：43,991千円



首都圏でのPRイベント



導入した機械

○省力化による持続可能な水田農業の推進

【取組】

- ・大規模で安定した農業経営と水田農業の持続的発展を実現するため、水田農業の省力化に必要な収獲機械や共同利用施設等の導入を支援

【成果】

- ・農業機械・施設の整備：7件（コンバイン、トラクター等）

【関係事業】

- ・水田農業競争力強化支援事業費：20,683千円

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 3 主要農作物の種子の安定供給に努めます

○主要農産物の種子の安定供給

【取組】

- ・主要農作物の生産増進を図るため、優良品種の増殖普及と優良品種への更新を促進するとともに、これに必要な原原種ほ場、原種ほ場の設置、採種ほ場の指定、ほ場審査、その他採種管理に対する指導等の実施

【成果】

- ・水稻採種ほ場 165ほ場で計5品種 計26ha
〔 ひめの凜、ヒノヒカリ、しずく媛、
松山三井、媛育71号 〕
- ・麦採種ほ場 166ほ場で1品種 31ha（ハルヒメボシ）

【関係事業】

- ・優良種子生産体制強化事業費：77千円



栽培講習会

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

○儲かる品目の生産拡大や高品質化等による収益性向上

【取組】

- ・野菜等産地の規模拡大や高品質化等に必要な施設・機械等の導入を支援

【成果】

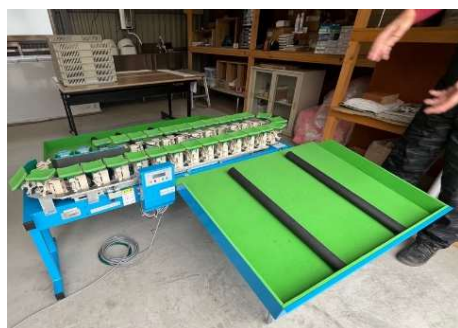
- ・さといもの省力化機械等の導入：5産地、5件
(西条市、今治市、松山市、東温市、西予市)
- ・ネギの省力化機械等の導入：1産地、1件(四国中央市)
- ・いちごの選果機の導入：1産地、1件(今治市)

【関係事業】

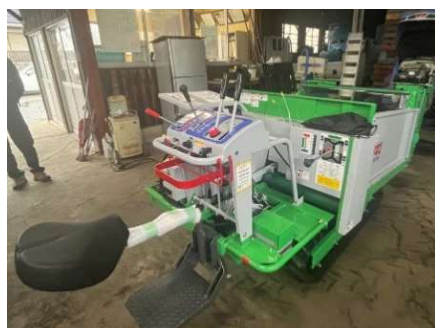
- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：17,228千円



除草剤散布機



いちごの選果機



堆肥散布機



運搬車

○県オリジナル品種「媛かぐや」の産地づくり

【取組】

- ① 産地育成推進会議の開催(2回)
 - ・新規栽培農家の確保や安定生産技術の確立と普及
 - ・加工事業者等と連携した需要創出に関する協議
 - ・各関係機関での情報共有
- ② 栽培体系の構築
 - ・種芋適期定植の指導
 - ・適切な栽培管理の徹底
- ③ 需要創出
 - ・青果卸を通じた飲食店等への販路開拓、フェアの開催
 - ・加工業者への販路開拓
 - ・流通形態別の販売検証

【成果】

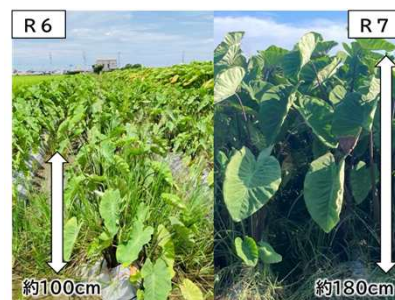
- ①
 - ・栽培農家数の増加：22戸 [R6：15戸]
 - ・栽培面積の増加：30a [R6：17a]
- ②
 - ・種芋適期定植による初期成育が旺盛となり、欠株率が減少
 - ・適切な栽培管理による平均反収の増加：2.2t [R6：0.6t]
- ③
 - ・青果用として100kgを出荷し、フェアにより、認知度を醸成
 - ・加工用として370kgを出荷し、加工品の開発、商品化を実現
 - ・令和8年度の主軸を、加工用出荷に設定
(価格の安定、サイズ選別不要による労働負担の軽減のため)

【関係事業】

- ・「媛かぐや」産地育成事業費：1,112千円



自家育苗した苗の定植



媛かぐや生育状況(同時期)



媛かぐや加工品

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

○野菜共同利用施設の再編・合理化の推進

【取組】

- ・野菜共同利用施設の再編集約・合理化に係る施設・機械の導入を支援

【成果】・高性能選果機等の導入（久万高原町）

【関係事業】・共同利用施設再編集約合理化推進事業費：236,880千円



トマト選果機

○いちご栽培のデータ活用等高収量安定生産技術の確立

【取組】

- ① いちごの生理生態や栽培理論を学ぶ「いちごスクール」の開催（7～8月に7回、参加者累計：144人）

- ② モニタリングデータを活用した高度な栽培管理技術の普及

- ・県オリジナル品種を中心に、専門家によるセミナーや、普及指導員によるフォローアップ研修会を開催（21回、累計：401人）

【成果】

- ① モニタリングデータ活用に取り組む生産者数増加（10人→26人）

- ② 重点指導対象者20人のうち、15人で生育が改善

- ③
 - ・県オリジナル品種栽培面積：4.4ha（R6：4.5ha、R5：4.7ha）
 - ・10aあたり収量：4.8t（推定）（R5～R6産：4.5t、R4～R5産：4.7t）

【関係事業】・いちご新技術導入促進事業（東予）：2,192千円



環境制御技術の専門家によるセミナー

○さといも優良種苗新增殖技術の普及

【取組】

- ① 生産者や関係機関、民間企業等との協議会を設立し、事業推進のための会議を2回開催（7,2月）

- ② 新增殖技術を確立するため、実証ほ（4か所）を設置

【成果】

- ① 新技術確立へ向けた関係機関等との意識統一、民間企業によるエチレングス処理に関する知見の共有のほか、当年度の実証ほでの実証計画とその結果を協議し、今後の技術確立に向けた実証の方向性を決定

- ②
 - ・効果の高いエチレングス処理条件
 - ・新增殖技術で育苗した苗（新增殖法苗）の最適な形態を確認
 - ・慣行栽培と同等以上の収量を記録
 - ・新增殖法苗の最適な定植時期について、知見を習得

【関係事業】・さといも優良種苗新增殖技術普及事業費（東予）：939千円



現地実証ほの確認

○そらまめ産地の強化を支援

【取組】

- ① 関係機関と一体となった事業推進体制を構築

- ② 黄化症状未発生時のデータを収集（4～5月）

- ③ 生育阻害要因への対策技術確立に向け、実証ほを6か所設置

- ④ 情報収集活動として、鹿児島県の先進地を調査（2月）

【成果】

- ① 産地強化への意識統一を行うとともに、生産者アンケートを実施し、黄化症状が収量に与える影響等を整理

- ②
 - ・ほ場巡回を通して、生育状況や気温、地温等を測定
 - ・令和7年産で黄化症状は未確認、データを取りまとめ

- ③ 近年の気象変動による春先の地温上昇や大雨への対策技術を実証

- ④ 地温上昇抑制対策や輪作への対策を調査し、関係者で情報を共有

【関係事業】・そらまめ産地強化事業費（中予）：1,476千円



現地検討会の様子



実証ほの生育調査

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 5 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

○さくらひめ切り花・鉢物の生産支援

【取組】

- ① 夏季自家育苗技術を確立するため実証ほ（5か所）を設置
- ② 生産者、市場、関係機関との検討会及び現地研修会（2回）
- ③ 認知度向上と需要喚起を目的として、伊予農業高等学校の生徒が制作したアレンジメント作品の展示などのPR活動を実施

【成果】

- ①
 - ・切り花：種苗コスト低減と卒業式等の需要期出荷・安定継続出荷を可能とする技術を確立（マニュアルを作成）
 - ・鉢物：出荷の前進化により、3～4月の市場ニーズに対応
 - ・取組生産者：5人（R6：3人）
- ② 市場動向や技術実証内容に関する意見交換のほか、実証ほにおける需要期出荷の実践状況等を確認・共有
- ③ 県内消費者の「さくらひめ」認知度が、66%に向上（R6：59%）

【関係事業】

- ・さくらひめ産地強化事業費：1,045千円



現地検討会



PR活動

○新たな花きニーズの創出

【取組】

- ・県花き関連団体のイベントを、開催時期ごとに「えひめ花いっぱいプロジェクト」と銘打って開催
- ・イベントをまとめたPRチラシを作成し、周知（県HPに掲載）
- ・写真を募集し、当選者へ花チケットをプレゼント（応募者：38人）

【成果】

- ・Instagramでの若い世代をターゲットにした情報発信
→フォロワー数：339人
- ・花を活用したオブジェを設置し、県産花きをPR

【関係事業】

- ・えひめ花いっぱいプロジェクト開催費：1,119千円



オブジェの設置

○観賞用枝物の産地拡大支援

【取組】

- ・愛媛県の枝物類は、全国を誇る産地へと急成長しており、更なる枝物類の出荷量の増加を図るため、苗木及び安定生産に必要な資材の導入経費の一部を支援

【成果】

- ・苗木導入面積：565a

【関係事業】

- ・観賞用枝物類産地支援事業費：3,375千円



新植した苗木

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 6 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組めます

○生産基盤の強化

【取組】

- ・国補助事業や県単補助事業（畜産生産基盤維持強化支援事業費）による施設整備や機械導入、畜産関連既存施設の補改修を推進

【成果】

- ・畜産施設の改修：27件
- ・堆肥生産支援：5件

【関係事業】

- ・畜産経営技術指導事業費：4,287千円
- ・畜産生産基盤維持強化支援事業費：35,346千円



採卵鶏農家の集卵機の改修

○生産体制の強化

【取組】

- ① 効率的かつ均一的な後継牛の確保に向け、優れた育成・繁殖技術及び放牧地を有する公共牧場の活用とICT機器を活用した繁殖管理を推進
- ② 愛媛あかね和牛の生産強化に向けて、遺伝子検査等を活用し、子牛の高品質生産体制の構築を推進

【成果】

- ① 公共牧場等で強化育成した頭数：95頭
- ② 愛媛あかね和牛生産頭数：164頭（目標頭数：240頭）

【関係事業】

- ・持続する酪農生産体制支援事業費：4,961千円
- ・愛媛あかね和牛産地化支援事業費：8,030千円



公共牧場を活用した
後継牛育成

○畜産経営の安定化

【取組】

- ① 自給飼料の生産拡大や耕畜連携等の取組を支援し、輸入飼料価格の影響を受けにくい経営体質への転換を推進
- ② 生産コストの増など厳しい経営環境にある県内畜産農家の経営維持に向けて、素畜導入等を支援

【成果】

- ① 支援取組件数：7件
- ② 支援農家数：延べ135戸

【関係事業】

- ・持続する酪農生産体制支援事業費：4,961千円
- ・畜産経営緊急支援事業費：278,499千円



自給飼料生産の取組支援

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○新活力創出試験研究プロジェクトの推進

【取組】

- ・今後の地域間競争に打ち勝ち、持続的に地域を発展させるために、各地域の将来目標を実現する研究テーマを掲げ、農林水産研究所が組織をあげて取り組む当該プロジェクトを実施することにより、目標設定・解決型の試験研究を展開し、農林水産業の更なる活性化を推進

【成果】

- ① サトイモ愛媛農試V2号を凌駕するスーパー品種の開発
 - ・第一期に選抜した優良16系統（個重タイプ）のうち、特に収量性が高く有望な2系統を選抜し、生産力検定を実施
- ② 全国初！スマホにお知らせ「できるサトイモ栽培」支援システムの開発
 - ・pFセンサーによって土壌水分を把握のうえ、かん水作業のタイミングを知らせるシステムを構築し、現地で実証
- ③ かんきつへの通電処理による高品質果実生産技術開発
 - ・うんしゅうみかん及び愛媛果試第28号（紅まどな）への通電処理による品質向上効果を評価
- ④ 「質の米どころ愛媛」を盤石にする「ひめの凜シリーズ」の開発
 - ・高温耐性遺伝子を持つ3品種と「ひめの凜」の交配を実施
 - ・玄米タンパク質含有率と食味の関係を検証
- ⑤ 愛媛の微生物資源を活用した果樹の新生物的防除技術開発
 - ・県内園地から、病原細菌に抗菌性を持つ内生細菌とバクテリオファージを採取し、遺伝子解析や特徴調査を実施
 - ・選抜した微生物の抗菌力を室内試験で検証

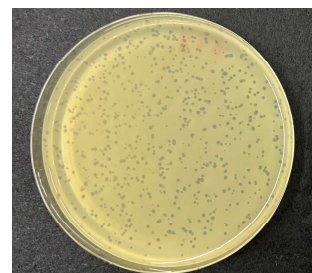
【関係事業】・新活力創出試験研究プロジェクト推進事業費：5,262千円



サトイモの優良系統を選抜



通電処理が生育に与える影響を調査



培地でのバクテリオファージの抗菌活性調査

○水稻品種育成加速化技術の開発

【取組】

- ・主要品種の「あきたこまち」の品質が極めて悪く、生産者からは有望品種への切り替え要望が強いことから、品質・食味が良く収量が安定した早生品種の早期育成と普及を目指すため、DNAマーカー育種技術の確立と電子野帳を開発

【成果】

- ・高温耐性遺伝子3種と、穂いもち耐性遺伝子1種を検出
- ・極早生と中生を交配するため、開花日調整技術を検討
- ・数値データを携帯端末に音声入力可能な電子野帳を開発し、草丈、茎数、葉色値、稈長、穂長、穂数を一人で調査が可能

【関係事業】・農業試験研究費：23,859千円

（うち水稻品種育成加速化技術開発試験：990千円）



○キウイフルーツ生産技術の開発

【取組】

- ・キウイフルーツ生産量日本一の座を堅持することを目指し、異常気象等に起因する生育不良を克服するための安定生産技術を開発

【成果】

- ・湿害に強い台木「バウンティ」を選抜し、水田転換園での現地実証
- ・改植後の生育不良対策として、大苗育苗の技術開発を実施
- ・開花期の多雨対策として簡易雨よけ栽培を検討し、花腐細菌病の発生軽減効果を確認
- ・雨よけ施設を利用し、夏期異常高温対策として遮光栽培を検討

【関係事業】・果樹試験研究費：37,743千円

（うち異常気象に負けないキウイフルーツの生産技術開発費：1,000千円）

バーコードリーダーと
二次元コード竹尺で
データを測定・保存



1年間育成後の
キウイフルーツの大苗

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

○カンキツ黒点病薬剤防除体系の確立

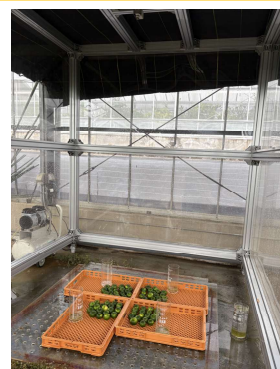
【取組】

- ・主要な防除薬剤の販売終了に対応した新しい防除体系の確立
- ・より高い防除効果を得られるドローン散布方法の検討

【成果】

- ・代替剤の防除効果を評価し、新しい防除体系が現行体系の防除効果と同等であることを確認
- ・散水処理や多量散布による防除効果への影響を検証

【関係事業】・カンキツ黒点病薬剤防除体系確立試験費：762千円



人工降雨による防除効果試験

○紅プリンセス高品質化栽培試験

【取組】

- ・紅プリンセス（愛媛果試第48号）栽培における、果皮障害や生理障害、肥培管理や貯蔵条件の課題を解明し、スムーズな産地化を後押し

【成果】

- ・高品質果実生産に向けては、秋期の水管理がポイント
- ・ネック果の発生は、開花期前後の気温が影響
- ・貯蔵については、低温貯蔵が有効

【関係事業】・果樹試験研究費：37,743千円

（うち紅プリンセス高品質化栽培試験費：1,918千円）



紅プリンセスの品質基準を満たす高品質果実生産には秋期の水管理がポイント

○天敵を利用したアザミウマ防除技術の開発

【取組】

- ・県内の施設栽培「愛媛果試第28号」に発生するミカンキイロアザミウマは、強度の薬剤抵抗性を獲得し、化学農薬による防除が困難となっていることから、化学農薬以外の手法を組み合わせた防除方法を開発

【成果】

- ・天敵であるスワルスキーカブリダニの放飼試験を実施し、実用的な防除効果を確認（販売果率 天敵区：89.4%、無放飼区：53.7%）
- ・現地試験では、調査園地の半数で慣行防除と同等の効果を確認

【関係事業】・果樹試験研究費：37,743千円

（うち天敵等を利用したアザミウマ防除技術開発試験費：630千円）



ミカンキイロアザミウマ幼虫

○畜産生産技術等の開発

【取組】

- ・飼料価格の高騰対策や高付加価値化、効率的・省力的な家畜管理など、畜産農家が抱える課題を解決へ導く技術を開発

【成果】

- ・和牛の若齢肥育での効率的な枝肉重量増加技術の確立を図るため、哺育期の効果的な人工哺育技術、育成期の適切なタンパク質水準を検討中
- ・鶏卵・鶏肉の付加価値を向上させるため、「鉄」の添加給与による鉄成分の強化、卵殻色の変化を調査中
- ・ICT技術で得られる乳牛行動情報を分析したところ、季節や飼養管理が、乳牛の反すう行動に影響を及ぼすことが判明。

【関係事業】

- ・畜産試験研究費：21,572千円
- ・和牛肥育発育性向上技術確立試験費：981千円
- ・鶏卵鶏肉の高付加価値創出試験費：6,980千円



人工哺乳の様子



行動データ取得端末機

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、足腰の強いえひめ農業を確立します

〇産地づくりと地域づくりの推進

【取組】

- ① 対象・活動の重点化及び特色ある普及活動の展開、出口戦略を見据えた生産振興を実施
- ② ミドル層での先進技術の実証や流通販売促進の取組を支援
- ③ 流通面から産地の競争力を強化するため、普及指導員が、実需者の消費動向、県産農産物や加工品の流通上の問題点等を調査
- ④ いちご、きゅうり、トマト農家で低コスト環境計測機器の実証データの分析活用など環境制御技術向上に関する研修会を実施

【成果】

- ① 策定した
 - ・産地づくりビジョン：53課題
 - ・地域戦略ビジョン：33課題に取り組み、生産振興を推進
- ②
 - ・先進技術（施設、機械等）の導入：6件
 - ・流通販売促進の支援：3件
- ③
 - ・リアルタイム遠隔指導の運用上の課題解決
 - ・利用者の操作性や機能性を向上
- ④
 - ・モデル農家で環境計測実証：10戸
 - ・環境制御技術向上に関する研修会開催：3回、延べ131人

【関係事業】

- ・普及活動促進費：38,275千円
- ・儲かるモデル産地育成システム確立推進事業費：10,654千円
- ・リアルタイム農業普及指導ネットワーク運用事業費：3,224千円
- ・データ駆動型施設野菜栽培実証事業費：1,412千円



トマト環境制御技術に係る現地指導



リアルタイム診断システム



いちごハウスに設置した低コスト環境計測機器

〇省エネルギー化等による生産性向上に向けた取組支援

【取組】

- ・燃料の価格高騰の影響を受ける施設園芸農家の負担軽減を図るため、国セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料経費の一部を支援

【成果】

- ・国セーフティネット構築事業加入者：67戸（R6年：67戸）

関係事業】

- ・施設園芸燃料高騰対策支援事業費：1,222千円（R7年12月補正）
- ・施設園芸燃料高騰対策支援事業費：4,638千円（R6年12月補正）



国セーフティネット構築事業パンフレット

〇国内肥料資源利用拡大への支援

【取組】

高位安定品質の豚ふん堆肥の量産及び耕種農家への安定供給のため、堆肥製造施設の整備支援を実施

【成果】

整備した製造施設において高品質・安定生産に向けた堆肥生産を開始

【関係事業】

- ・国内肥料資源利用拡大対策事業費：30,000千円



整備した堆肥製造施設